

港湾労働者の声に多数の 国会議員から激励の言葉

24春闘中央行動 院内集会

3月7日、24春闘中央行動の一環として開催された「院内集会」は早朝の8時からにもかかわらず70名を超える議員が参議院第一会館に集結した。

開会にあたり全国港湾真島委員長は「昨日、国土交通省・厚労省に對し、港湾雇用の健全な発展とともに我々港湾労働者の労働環境整備や安心して働き続けることの諸課題について申し入れた。しかしながら不誠実な回答ばかりで、なかでも特に議員皆さんに訴えたい」として、次の課題について訴えを行った。

一つは「特重要拠点港湾」についてこれは港湾を兵站基地にする点となるのは間違いない。二つは「我々の交渉相手である日港協が労働委員会の命令を不服して国に対して行政訴訟を出している」としては港湾労働者の権利を侵害している。三つは「我々の交渉相手である日港協が労働委員会の命令を不服して国に対して行政訴訟を出している」としては港湾労働者の権利を侵害している。

国交省交渉



厚労省交渉



院内集会



休憩時間でも、政府は公的の状況に陥っている。なせ日本政府は責任を取らなにか。なせ、職域は待たない。なせ、議員からは、料金を上げたい。なせ、労働者の地位向上のため。なせ、現場の声。なせ、我々の交渉相手である日港協が労働委員会の命令を不服して国に対して行政訴訟を出している」としては港湾労働者の権利を侵害している。



丸の内デモ



経産省交渉



更なる結集と団結を！ 神戸港湾24春闘討論集会

2月28日、神戸ポートオアシスに於いて来賓に全国港湾より玉田書記長・岡部中央執行委員・日港協より古澤書記長、港運連より古澤書記長、港運同盟兵庫地方本部より梶山執行委員長を迎え、春闘討論集会が開催された。

開会にあたり神戸港湾吉オアシスに於いて来賓に全国港湾より玉田書記長・岡部中央執行委員・日港協より古澤書記長、港運連より古澤書記長、港運同盟兵庫地方本部より梶山執行委員長を迎え、春闘討論集会が開催された。



その後、西澤神戸港湾



経団連前行動

